



〔配布期限 11月24日〕

フクシマのあの時、そして今

～福島 浪江町の語り部が語る～

東日本大震災・福島第一原発の事故から1年半以上の年月が流れました。現在も放射性物質を放出し続けているのに、昨年12月、政府は原発事故の収束を宣言し、避難地域の解除を一部行っています。福島県の子もたちは被曝による健康影響という重荷を背負わされたまま、だれも責任を取ろうとしていません。

フクシマのみなさんの暮らしは、どうなっているのでしょうか。福島第一原発から7～8キロの福島県・浪江町で被災され、現在は堺市に住むご家族のもとに避難されている吉川裕子さんからお話をうかがいます。

豊中には福島の子もたちの保養キャンプなど、地道な活動をされている方々もおられます。フクシマにこだわり続けていることから見えてくるものを持ち寄り、私たちはどう考え、何をしたらいいのか、一緒に話し合いましょう。「私たちはフクシマを忘れない！」多数のみなさまのご参加を、お待ちしております。

是非聞きに来てくださいね。



吉川裕子さんのプロフィール

自宅で託児所を運営するかたわら、10年間、「ふくしまの民話の語り部」として活動。100以上の民話を語る。

現在、府内に避難している約150世帯が参加する「みちのくの会」の代表として、生活相談などを受けている。

〈とき〉 2012年11月24日(土) 14:00～16:00

〈ところ〉 とよなか男女共同参画推進センター **すてっぷ** セミナー室1

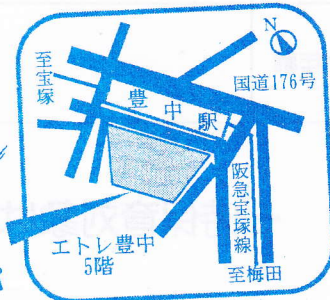
阪急豊中駅すぐ、エトレ豊中5階

〈参加費〉 500円、参加申込み不要

〈一時保育〉 要予約〈裏面に、詳細・申込用紙〉

〈主催〉 脱原発で生きたい女たち・豊中
連絡先 09011436158

〈協賛〉 財団法人 とよなか男女共同参画推進財団





FAX:06-6843-3568 この用紙に記入して、送信してください。

申込受付期限 11月17日(土)

【申込用紙】

申込日：2012年 月 日

講座名	フクシマのあの時、そして今		
開催日時	2012年11月24日(土) 14:00~16:00	会場	すてっぴ セミナー室1
大人の 名前	ふりがな		
電話番号		FAX	

子どもの名前	ふりがな	子ども一人につき、525円
子どもの年齢	**** 歳 **** カ月	
子どもの名前	ふりがな	子ども一人につき、525円
子どもの年齢	**** 歳 **** カ月	

〔注〕 一時保育対象は、1歳から小学3年生までです。